

マウスピースの交換方法

2022年4月

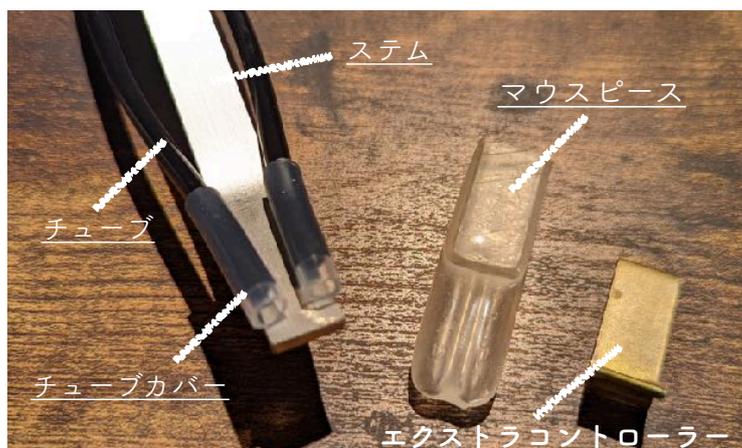
コウスキミュージックアンドサウンド(株)



NuRAD, NuEVI共通のマウスピースは取り外しが可能です。
また、単体で丸洗いができるパーツですので衛生的に保つ
ことができます。

※交換手順は本マニュアルを参考にし、慎重に行ってください。
無理な力を加えると各センサーからチューブの脱落や、
エクストラコントローラーの金属版が変形する恐れがありま
す。

【交換手順】



本体から取り外せるのはマウスピースとエクストラ
コントローラーの金属板の2点で、チューブやステ
ムは本体に取り付けられた状態です。



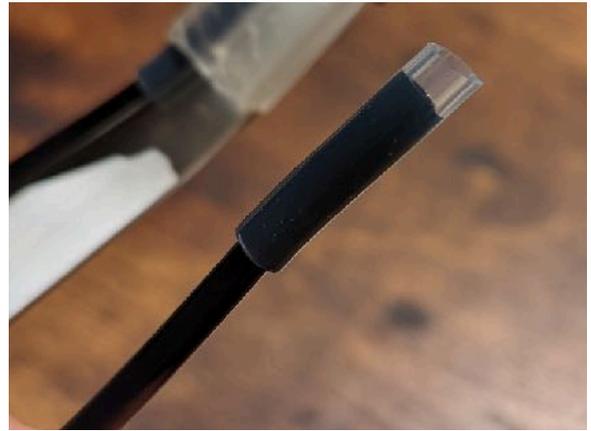
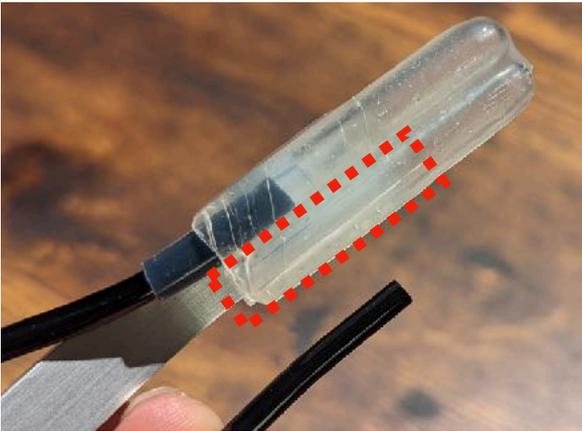
本体を裏側にし、図のようにマウスピースの
両側を持ちます



ブレスチューブ、チューブカバーを一緒に持って、
ゆっくり引き抜いてください。

【ポイント】

マウスピースからチューブを引き抜くときは必ず透明のチューブカバーも一緒に持って引き抜いてください。黒いチューブだけを持つとマウスピース内部に透明のチューブカバーが残ってしまい、再装着時に取り付けが困難になったり取り付け不良で息が抜けてしまう可能性があります。



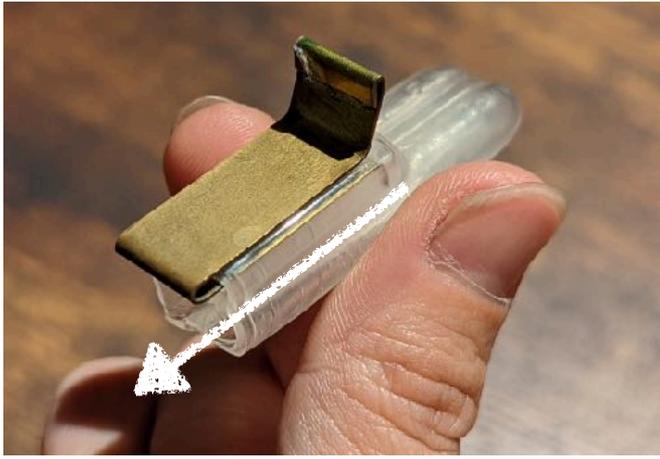
手前側が外れたら奥側も同様の手順で引き抜きます。

万が一透明のチューブカバーのみが抜けそうになった場合はマウスピースにチューブを押し込む、ゆっくり引き抜くの手順を繰り返すと一緒に抜きやすくなります。



ステムからマウスピースとエクストラコントローラーを引き抜きます。

エクストラコントローラーは曲がりやすいパーツですので、必ずマウスピース部分を持ってください。



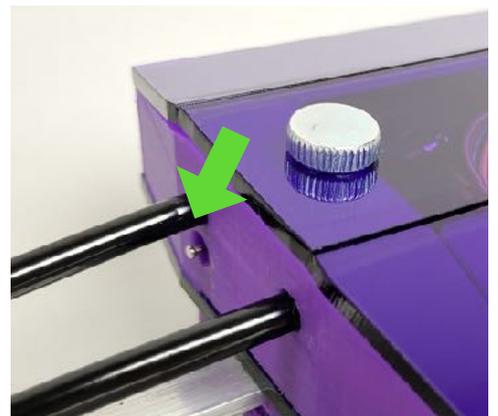
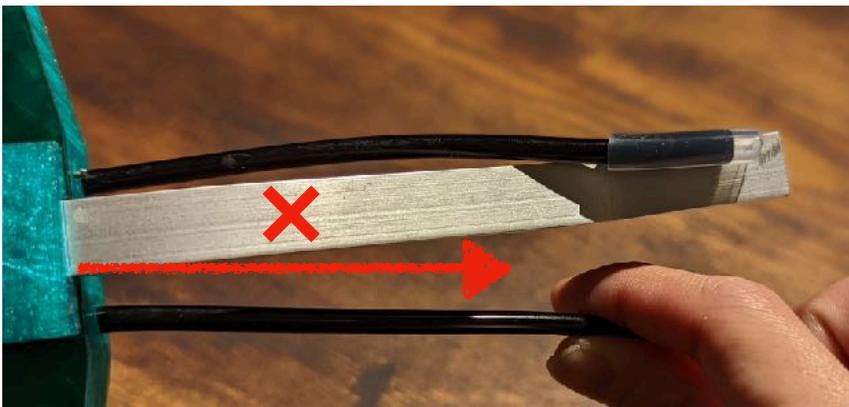
マウスピースとエクストラコントローラーを引き抜きます。
エクストラコントローラーは曲がりやすいパーツですので、こちらも無理な力を加えずゆっくり行ってください。

取り外し手順は以上となります。



マウスピース取り付け時の注意点

マウスピースを取り付ける際は逆の手順を行います。チューブを引っ張りすぎると本体に搭載されているブレスセンサーからチューブが脱落する可能性がありますので注意してください。



マウスピース取り付け後、電源を投入したら
気圧調整スイッチを押すことをお勧めします。

マウスピース周りのお手入れ、トラブル対策

NuRAD/NuEVIの故障、修理で最も多いのが唾液混入によるブレスセンサー破損や、ボディに水滴が混入による接触不良です。

基本的にメンテナンスフリーの製品ではありますが、いくつかのお手入れ方法を紹介致します。

※唾液混入によるブレスセンサー破損は有償修理の対応となるため注意が必要です

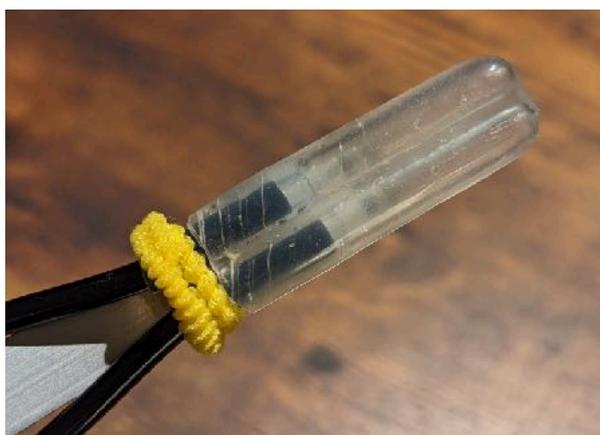


- ・マウスピースは消耗品で、噛むことによって徐々に柔らかくなり、最終的には穴が開くことがあります。亀裂や穴が開いた状態で演奏を続けると唾液が混入しやすくなります。消耗したら交換をお勧めします。

- ・マウスピースは丸洗いが可能なパーツですが、洗浄後はしっかり内部まで乾かしてから装着してください。水滴が残ったまま装着するとチューブを伝ってセンサーへ水分が侵入し、破損する可能性がございます。



NuRAD,NuEVIは息が抜けない構造になっており、通常使用での内部へ水分が侵入する可能性は低いですが、長時間真下を向いて演奏していると唾液がマウスピース内に侵入しやすくなる為、注意が必要です。楽器本体も体と並行になるよりは少し傾けるように構え、正面を向いて演奏されることをお勧めいたします。



構造上、口の横から息を漏らすようにして演奏することを推奨しておりますが、横から唾液が漏れてチューブを伝って外側からキーや内部に侵入する場合がございます。個人差はありますが、マウスピース下部に図のようなヘアバンドを巻き付けて水滴対策を行うことをお勧めいたします。

Berglund Instruments製品に関する事は、コウスキミュージックアンドサウンド(株)もしくは全国主要楽器店までお問い合わせください。

コウスキミュージックアンドサウンド株式会社

TEL : 048-494-1017

E-Mail:info@kohske.com